

令和 7 年 8 月 29 日発行

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

農業担い手メールマガジン（第 4 3 2 号）

◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆・☆・◆

<トピックス>

1. ノウフク・アワード 2025 9 月 30 日までエントリー受付中！
2. 「令和 7 年度 病虫害発生予報第 6 号」（令和 7 年 8 月 6 日（水）付け）を発表しました
3. 令和 7 年 9 月 18 日（木）国内資源肥料フォーラム in 近畿 来場者募集！
4. 「海外輸出を体系的に学ぶ 1 泊 2 日集中プログラム」受講者募集中！
5. 潮田流「未来を変える」土作りプログラム受講者募集中！
6. （みどり戦略技術紹介）AI による温州みかん糖度予測手法
7. 中山間地域の農業者の皆さん！農業所得の確保や農産物の売り先に困っていませんか？

◆◆◆現場の皆さんへ◆◆◆

【1. ノウフク・アワード 2025 9 月 30 日までエントリー受付中！】

多様で魅力的な農福連携の取組を表彰する「ノウフク・アワード 2025」のエントリーを募集中です。

受賞された方には、表彰式へのご招待のほか、当省ホームページや関係団体を通じて取組内容を全国的に広く発信してまいります。

自薦・他薦を問わず、農福連携の現場で頑張っている皆さんの素晴らしい取組をぜひ教えてください！ご応募お待ちしております♪

■ 応募期間

2025 年 8 月 4 日（月曜日）～ 9 月 30 日（火曜日）

■ 応募対象

地域において、農林水産業で障害者等（※）の多様な能力が発揮され、農林水産分野、福祉分野が抱える様々な課題の解決の実現はもちろんのこと、障害者等の社会参画の実現、地域農林水産業の維持・発展、更には地域活性化にも貢献している団体等

（※）障害者等には、高齢者や生活困窮者、犯罪をした者、ひきこもりの状態にある者等の生きづらさを抱える多様な人々を含む。

■ 応募方法

ノウフク・アワード 2025 募集サイトより応募用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、エントリーフォームからご応募ください。

◇ ご応募（「ノウフク・アワード 2025」特設サイト）はこちらから（（一社）日本基金「ノウフク」Web）

→ <https://noufuku.jp/award/award2025/>

◇ お問い合わせ先

農福連携等応援コンソーシアム事務局（一般社団法人日本基金）

MAIL：noufukuaward@nipponkikin.org

【2.「令和7年度 病虫害発生予報第6号」(令和7年8月6日(水)付け)を発表しました】

農林水産省は、今後の農作物の病虫害発生動向や防除について「令和7年度病虫害発生予報第6号」を発表しました。

気象庁の向こう1か月の予報（7月31日付け）では、気温は北日本、東日本、西日本では高く、沖縄・奄美ではほぼ平年並と予想されています。降水量は、北日本日本海側、東日本日本海側で平年並が多い、北日本太平洋側、東日本太平洋側、西日本ではほぼ平年並、沖縄・奄美で平年並か少ないと予想されています。

水稻では、斑点米カメムシ類（イネカメムシを含む）の発生について1道2府26県で注意報が発表されており（8月1日現在）、四国、沖縄を除く全国の複数の地域で多くなると予想されています。

豆類では、マメシクイガの発生が、北海道及び東北の一部の地域で多くなると予想されています。

野菜・花きでは、オオタバコガの発生が、北東北、北陸、東海及び近畿の一部の地域で多くなると予想されています。

果樹では、果樹カメムシ類の発生が、北海道、東北及び東海の一部の地域で多くなると予想されています。

この他、ねぎのアザミウマ類等、地域によっては多くなると予想されている病虫害があるので注意してください。

また、今後も継続して気温が高くなる見込みであることから、病虫害の発生量の増加や発生時期の長期化により、農作物への被害が増えるおそれがありますので、発生状況を注意し、適期の防除を実施してください。

◇ 「令和 7 年度 病虫害発生予報第 6 号」の発表について（令和 7 年 8 月 6 日付け農林水産省プレスリリース）（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/press/syouan/syokubo/250806.html>
（都道府県の発表する病虫害発生予察情報と併せてご利用ください。）

◇ 都道府県の病虫害発生予察情報など（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/syouan/syokubo/gaicyu/yosatu/index.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省消費・安全局植物防疫課（担当：岡田、城野、古澤）

TEL：03-3502-3382（直通）

【3. 令和 7 年 9 月 18 日（木）国内資源肥料フォーラム in 近畿 来場者募集！】

農林水産省では、国内資源（家畜ふん堆肥、下水汚泥資源、食品残渣等）の肥料利用の拡大を目指し、肥料関係者間のマッチング機会の提供、先進事例の発信等、全国各地における国内肥料資源の利用拡大に向けた種々の取組を行っています。

この度、令和 7 年 9 月 18 日（木）にマイドームおおさか（大阪府大阪市）にて、「国内資源肥料フォーラム in 近畿」が開催されます。

本フォーラムでは、肥料原料供給事業者、肥料メーカー、肥料利用者等が一堂に会し、基調講演や取組事例の紹介のほか、約 40 団体がパネル出展を実施いたします。ご興味のある方はどなたでも、無料でご来場いただけます。ご来場を希望される方は、以下公式 HP より事前登録をお願いします（当日参加も可）。

日時：令和 7 年 9 月 18 日（木）13 時～16 時 30 分（12 時 45 分受付開始予定）

会場：マイドームおおさか 2 階 C・D ホール

内容：基調講演、事例発表、約 40 団体のパネル出展、相談窓口等

主催：株式会社マイナビ

参加申込締切：9 月 17 日まで

※ 本事業は令和 7 年度「国内肥料資源利用拡大対策事業」として運営しています。

◇ 詳細、事前登録はこちらから（マイナビ農業「マッチングフォーラム」公式 HP）
→ <https://agri.mynavi.jp/hiryo-forum/kinki/>

◇ お問い合わせ先

国内資源肥料フォーラム運営事務局（株式会社マイナビ農業活性事業部）

MAIL：agri-hiryo@mynavi.jp

TEL：03-6267-4019（平日 10:00～17:00）

【4.「海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム」受講者募集中！】

経営を次のステージへ引き上げる、AFJ 日本農業経営大学校オンラインスクール。
今回ご紹介する講座「海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム」は、本気で海外輸出に挑戦したい農業者や輸出支援者の皆さまに向けた、1泊2日の海外輸出実践講座です。

ご自身の産地の課題・方向性を確認しながら、輸出に求められるスキルを学べる充実のカリキュラムを2日間の対面研修に凝縮しました。

マーケティングプロセスから海外輸出の実際まで、体系的に輸出ビジネスを学習し、ご自身の産地で輸出ビジネスをリードする力を養います。

また、全国各地から集まる同じ志を持つ方々とのネットワーキングの場としてもご活用いただけます。

農林水産物・食品の海外輸出に取り組む・取り組みたい皆さまのご参加をお待ちしております！

■ 海外輸出を体系的に学ぶ1泊2日集中プログラム（対面研修）

- 開講期間：2025 年 10 月 21 日（火）～2025 年 10 月 22 日（水）（1泊2日）
- 研修会場：AFJ 日本農業経営大学校（〒108-0075 東京都港区港南2丁目10番13号 農林中央金庫品川研修センター）
- 受講料：44,000 円（税込）※ 食費・宿泊費込み
- 定員：30 名（先着順）
- 主な対象：農業者、輸出支援に携わる JA・都道府県職員など
- 申込方法：2025 年 10 月 1 日（水）17:00 までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ <https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/export-camp/>

※ 東京・品川にて対面で実施いたします

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL : application-online@afj.or.jp

TEL : 03-5781-3750

【 5. 潮田流「未来を変える」土作りプログラム受講者募集中！ 】

経営を次のステージへ引き上げる、AFJ 日本農業経営大学校オンラインスクール。

今回ご紹介する講座「潮田流「未来を変える」土作りプログラム」は、土壌分析の結果をもとに、収量と品質を高める「土作り」を実践的に学ぶプログラムです。

全4回の講義では、基礎知識の習得から、受講者自身の土壌の現状把握・改善に向けた検討まで、段階的に学習を進めます。

施肥前の最新分析結果をお持ちでない方は、オプションとして開講前に分析も可能です。適切な肥料や成分の判断方法を学び、土作りの感覚を言語化する本プログラムを通じて、自信を持って土作りに取り組む力を身につけます。

■ 潮田流「未来を変える」土作りプログラム（オンライン講義）

- 受講期間：2025 年 12 月 1 日（月）～2025 年 12 月 22 日（月）（全4回）
- 受講料：38,500 円（税込）※ 土壌分析が必要な方は+5,500 円（税込）
- 定員：15 名（先着順）
- 申込方法：2025 年 10 月 27 日（月）17:00 までに下記よりお申し込みください。

◇ お申込み・講座の詳細はこちら（（一社）アグリフューチャージャパン「AFJ 日本農業経営大学校」HP）

→ https://www.afj.or.jp/jaiam/onlineschool/soil_preparation/

◇ お問い合わせ先

AFJ 日本農業経営大学校 オンラインスクール事務局

MAIL : application-online@afj.or.jp

TEL : 03-5781-3750

【 6. （みどり戦略技術紹介）AI による温州みかん糖度予測手法 】

「みどり戦略技術紹介」では、毎月、環境負荷の低減に取り組む農業者の皆様に役立つ技術をご紹介します。

今回は、AI による温州みかん糖度予測手法についてです。現場での適切な栽培管理に繋がる技術です。

温州みかんを対象に、前年までに蓄積された糖度データと気象データから、AI（人工知能）による機械学習を用いて当年の糖度を予測する手法が開発されました。収穫よりも数ヶ月早い時点から実用的な精度で糖度を、地区を単位として品種・系統別に予測できます。これによって、適切な栽培管理ができ、温州みかんの品質の向上に役立ちます。

本技術の詳しい情報については、みどり技術カタログをご覧ください。

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ(分割版：果樹) (PDF：7,983KB) p. 3 AI による温州みかん糖度予測手法（農林水産省 Web）

→

https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/04_midori_catalog5_fruit.pdf#page=3

◇ 「みどりの食料システム戦略」技術カタログ（農林水産省 Web）

→ <https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/catalog.html>

◇ お問い合わせ先

農林水産省大臣官房政策課技術政策室（担当：中野、小松崎）

TEL：03-3502-3162（直通）

【7. 中山間地域の農業者の皆さん！農業所得の確保や農産物の売り先に困っていませんか？】

中山間地域の農業は、食料の生産だけではなく、農業の多面的機能の発揮の面でも重要な役割を担っています。

農村振興局地域振興課では、意欲ある中山間地域の農業者等を対象として、「中山間地域所得確保推進事業」により地域の農業所得確保に向けた取り組みを支援しています。

具体的には、国内外のマーケット調査や消費者動向調査、生産から販売までの現状分析・新たな戦略の検討が可能となっており、それらを踏まえて、所得確保計画の策定・実践を行います。

中山間地域の風土を活かした農作物のブランド化や販路開拓に取り組んでみませんか？

現在、取り組みたい方を募集中ですのでご興味のある方は、以下の URL をチェックしてみてください！

- 実施期間：1 年間
- 交付率：定額（上限 500 万円/地区）
- 実施主体：地方公共団体、農業者団体、農業者（2 者以上）等
- 申請方法：所在の市町村を通じて申請を受け付けています

◇ 中山間地域所得確保推進事業の詳細についてはこちら（農林水産省 Web）

→ https://www.maff.go.jp/j/nousin/tiiki/sesaku/syotoku_kakuho.html

◇ お問い合わせ先

農林水産省農村振興局農村政策部地域振興課（担当：岡村、大畑）

TEL：03-3501-8359（直通）

◆◆◆編集後記◆◆◆

今夏の全国高校野球大会では、昨年から導入された 2 部制を更に拡充して実施していましたが、熱中症の疑いで搬送される選手や観客が減少するなどの効果がみられたようです。フィールドを田畑等で働く方に目を向けると、皆さん、有用な対策を講じられているはずですが、それでも 6 月の熱中症の疑いによる救急搬送者数は、昨年同月と比べて 2 倍を超える 392 人に達しています。お盆が過ぎ、夏野菜の収穫のピークも過ぎつつありますが、気象庁の長期予報では今後も平年より高い気温が続くと見込まれています。熱中症は農業機械の操作にも影響を及ぼし重大な事故にもつながりますので、これから最盛期を迎える稲刈り作業には十分ご注意ください。（大庭）

参考：農林水産省「令和 7 年 6 月に発生した農作業死傷事故」（令和 7 年 8 月 8 日公表）

- 経営局公式 Facebook ページ「農水省・農業経営者 net」

→ <https://www.facebook.com/nogyokeiei>

- ご意見・ご質問はこちら

→ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/form/keiei/keiei/180817.html>

- リンク URL の一部に PDF 形式のものがあります

メールマガジンに記載した URL で、一部 PDF 形式のものがあります。PDF ファイルをご覧いただくためには、農林水産省ホームページ「3 PDF ファイルについて」をご覧になり、「GetAdobeReader」のアイコンで AdobeReader をダウンロードしてください。

→ <https://www.maff.go.jp/j/use/link.html>



○ 電子出版：農業担い手メールマガジン

○ 発行日 ：毎月 1 回発行

○ 発行元 ：農林水産省経営局経営政策課 担当：大庭、磯野

☆ このメルマガの配信申込み、バックナンバーはこちらから

→ https://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_hyousyou/hyousyou_merumaga.html

☆ このメルマガの配信変更、配信解除、パスワード再発行等はこちらから

→ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

